

7 特定疾患（難病）関係

(1) 特定疾患医療受給者証所持者数

平成26年末現在¹⁾の特定疾患医療受給者証所持者数は925,646人で、男402,770人(43.5%)、女は522,876人(56.5%)となっている。また、人口10万対で見ると728.4となっており、疾患別では「(12)潰瘍性大腸炎」が134.4と最も多く、次いで「(20)パーキンソン病関連疾患」が107.5となっている。(表8)

表8 特定疾患医療受給者証の所持者数

(単位：人)

平成26年末現在¹⁾

	特定疾患医療受給者証所持者数			
		(人口10万対)	男	女
総数 (構成割合：%)	925 646 (100.0)	728.4	402 770 (43.5)	522 876 (56.5)
(01) ベーチェット病	20 035	15.8	8 586	11 449
(02) 多発性硬化症	19 389	15.3	5 429	13 960
(03) 重症筋無力症	22 108	17.4	8 355	13 753
(04) 全身性エリテマトーデス	63 622	50.1	7 066	56 556
(05) スモン ¹⁾	1 425	1.1	345	1 080
(06) 再生不良性貧血	11 152	8.8	4 544	6 608
(07) サルコイドーシス	26 763	21.1	7 951	18 812
(08) 筋萎縮性側索硬化症	9 950	7.8	5 541	4 409
(09) 強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	52 715	41.5	9 349	43 366
(10) 特発性血小板減少性紫斑病	27 445	21.6	8 675	18 770
(11) 結節性動脈周囲炎	12 057	9.5	4 865	7 192
(12) 潰瘍性大腸炎	170 781	134.4	93 399	77 382
(13) 大動脈炎症候群	6 420	5.1	739	5 681
(14) ビュルガー病	7 043	5.5	6 098	945
(15) 天疱瘡	6 070	4.8	2 523	3 547
(16) 脊髄小脳変性症	27 582	21.7	13 257	14 325
(17) クロウン病	40 885	32.2	28 916	11 969
(18) 難治性の肝炎のうち劇症肝炎 ¹⁾	284	0.2	144	140
(19) 悪性関節リウマチ	6 697	5.3	1 981	4 716
(20) パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病)	136 559	107.5	56 620	79 939
(21) アミロイドーシス	2 281	1.8	1 226	1 055
(22) 後縦靭帯骨化症	39 416	31.0	26 781	12 635
(23) ハンチントン病	933	0.7	396	537
(24) モヤマヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	17 436	13.7	5 636	11 800
(25) ウェゲナー肉芽腫症	2 430	1.9	1 117	1 313
(26) 特発性拡張型(うっ血型)心筋症	28 446	22.4	21 420	7 026
(27) 多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症、シャイ・ドレーガー症候群)	12 741	10.0	6 360	6 381
(28) 表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	366	0.3	161	205
(29) 膿疱性乾癬	2 052	1.6	1 018	1 034
(30) 広範脊柱管狭窄症	6 436	5.1	4 327	2 109
(31) 原発性胆汁性肝硬変	22 381	17.6	3 032	19 349
(32) 重症急性膵炎 ¹⁾	1 829	1.4	1 201	628
(33) 特発性大腿骨頭壊死症	17 918	14.1	10 056	7 862
(34) 混合性結合組織病	11 005	8.7	833	10 172
(35) 原発性免疫不全症候群	1 598	1.3	939	659
(36) 特発性間質性肺炎	8 846	7.0	5 970	2 876
(37) 網膜色素変性症	29 330	23.1	12 448	16 882
(38) プリオン病	584	0.5	212	372
(39) 肺動脈性肺高血圧症	2 946	2.3	915	2 031
(40) 神経線維腫症	4 075	3.2	1 786	2 289
(41) 亜急性性硬化性全脳炎	83	0.1	51	32
(42) バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	293	0.2	149	144
(43) 慢性血栓塞栓性肺高血圧症	2 511	2.0	628	1 883
(44) ラインゾーム病(ファブリー[Fabry]病含む。)	1 061	0.8	595	466
(45) 副腎白質ジストロフィー	210	0.2	196	14
(46) 家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	166	0.1	85	81
(47) 脊髄性筋萎縮症	894	0.7	540	354
(48) 球脊髄性筋萎縮症	1 223	1.0	1 219	4
(49) 慢性炎症性脱髄性多発神経炎	4 633	3.6	2 816	1 817
(50) 肥大型心筋症	4 146	3.3	2 438	1 708
(51) 拘束型心筋症	35	0.0	23	12
(52) ミトコンドリア病	1 439	1.1	630	809
(53) リンパ脈管筋腫症(LAM)	689	0.5	1	688
(54) 重症多形滲出性紅斑(急性期)	123	0.1	49	74
(55) 黄色靭帯骨化症	4 238	3.3	2 801	1 437
(56) 間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	21 871	17.2	10 332	11 539

注：1) 「(05)スモン」「(18)難治性の肝炎のうち劇症肝炎」「(32)重症急性膵炎」については平成26年度末現在の数値である。

(2) 特定疾患登録者証所持者数

平成 26 年末現在の特定疾患登録者証所持者数は 68,332 人で、男は 27,806 人 (40.7%)、女は 40,526 人 (59.3%) となっている。また、人口 10 万対で見ると 53.8 となっており、疾患別では「(07)特発性血小板減少性紫斑病」が 10.8 と最も多く、次いで「(09)潰瘍性大腸炎」が 8.5 となっている。(表 9)

表 9 特定疾患登録者証の所持者数

(単位：人)

平成 26 年末現在

	特定疾患登録者証所持者数			
		(人口10万対)	男	女
総数 (構成割合：%)	68 332 (100.0)	53.8	27 806 (40.7)	40 526 (59.3)
(01) ベーチェット病	2 065	1.6	692	1 373
(02) 重症筋無力症	1 438	1.1	455	983
(03) 全身性エリテマトーデス	3 632	2.9	432	3 200
(04) 再生不良性貧血	3 568	2.8	1 491	2 077
(05) サルコイドーシス	10 459	8.2	3 552	6 907
(06) 強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	1 814	1.4	421	1 393
(07) 特発性血小板減少性紫斑病	13 779	10.8	4 181	9 598
(08) 結節性動脈周囲炎	314	0.2	125	189
(09) 潰瘍性大腸炎	10 779	8.5	5 122	5 657
(10) 大動脈炎症候群	545	0.4	61	484
(11) ビュルガー病	578	0.5	490	88
(12) 天疱瘡	478	0.4	165	313
(13) クローン病	1 512	1.2	843	669
(14) 悪性関節リウマチ	72	0.1	27	45
(15) 後縦靭帯骨化症	6 837	5.4	4 694	2 143
(16) モヤマヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	2 571	2.0	865	1 706
(17) ウェゲナー肉芽腫症	96	0.1	42	54
(18) 表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	10	0.0	4	6
(19) 膿疱性乾癬	50	0.0	16	34
(20) 広範脊柱管狭窄症	539	0.4	388	151
(21) 特発性大腿骨頭壊死症	5 707	4.5	3 153	2 554
(22) 混合性結合組織病	475	0.4	63	412
(23) 特発性間質性肺炎	536	0.4	310	226
(24) バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	49	0.0	24	25
(25) 慢性炎症性脱髄性多発神経炎	27	0.0	12	15
(26) 肥大型心筋症	10	0.0	5	5
(27) 拘束型心筋症	-	-	-	-
(28) ミトコンドリア病	2	0.0	1	1
(29) 黄色靭帯骨化症	160	0.1	99	61
(30) 間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、 クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	230	0.2	73	157